

炎症性腸疾患に対する院内での取り組み —看護師の立場から—



退院支援看護師 清水 未来子

皆さま、はじめまして。私は、院内で退院支援看護師として活動させていただいています。2022年に入ってから「難病看護師」「両立支援コーディネーター」の研修・試験を乗り越え、そして、オーストラリアのIBDナース育成研修である「GENCA IBD Nurses Foundation school」を、修了いたしました。今回は、私の活動についてご紹介したいと思います。

「難病看護師」とは、難病患者の意思決定支援、難病患者を支える家族への支援、難病患者が安心して生活を送れるよう地域との連絡調整を専門的に行う看護師です。私は難病の中でも特に、消化器系の難病である炎症性腸疾患の病態や治療法について熟知できるよう知識を深めてまいりました。皆さんの様々な疑問や不安に、専門的な看護師としてお答えします。医師や病棟看護師、薬剤師、栄養士、医療ソーシャルワーカーなど、多職種で連携し、一人ひとりに合った治療やサポートを一緒に考えていきます。

また、近年、仕事のストレスが病気へ悪影響をもたらすと注目されており、「治療と仕事」の両立支援に対する意識が高まってきています。「両立支援コーディネーター」は、患者さんと主治医、会社・産業医などのコミュニケーションが円滑に行われるよう支援します。外来にて、定期的に診察を受けに来院される皆さまのお仕事に関するご相談に乗っています。外来での相談窓口は始まったばかりですが、今後も活動を広めていきたいと、計画的に取り組んでおります。まずは、主治医の先生に頼んでいただくと、面談の時間を調整いたしますので、お気軽に声をかけていただくと嬉しいです。



おわりに

看護師とは「患者さんの趣味や生きがいを応援する仕事」だと私は思っています。「趣味」といっても、友達と美味しいものを食べるのが好き、一人で旅行に行くのが好き、今は仕事が一番、育児に集中している…など、たくさんあります。長く治療を続けていくためにも、今の生活の充実を応援したいのです。趣味と治療を両立できるようなアドバイスができるのは、日々の生活に寄り添う看護師ならではの役割だと思います。誰に相談したら良いかわからない、そんな時も看護師として、他の職種と連携し、皆さまのサポートを行うことが可能です。

精一杯応援させていただきます、よろしく願いいたします。

